

# 禁欲的な生き方の訳

karinomaki

## 男の人が嫌いなのではない

---

私はあまり男性とつきあったことがありません。時に、寄ってくる人はいますが、大抵一時的に終わってしまいます。それでいいと思っています。私の人生に、男の人は中心ではありませんでした。しかし、男の人が嫌いなのではなく、むしろ好きで、私は女の人が嫌いです。ほとんどの女の人の、男性中心の考え方が大嫌いです。

## 禁欲的な生き方

---

私は、禁欲的な生き方をしてきました。ある時、結婚している人を好きになったことがありますが、二度と会えなくなるまで、気持ちを伝えませんでした。

## 理由

---

禁欲的な生き方の理由はただ一つ、私が結婚が嫌いだからです。結婚があるから、世の中に不倫があるのだと思います。私は、好きなひとをなぜ一人にしぼらなければならないか、わからないのです。それは、倫理でしょうか。

## 自分なりの倫理

---

私は、決して結婚しません。心は常に自由でいたいです。どうして好きな人を「好き」と言ってはいけない場合があるのか、全て結婚のせいではありませんか？

## きれいでいたい

---

私は、正直に、好きな人は好きと言いたいです。そのために、だれともセックスしないのです。不倫は罪だからです。それなら、清くいるべきではありませんか？たとえ結婚している人を好きになっても、堂々と好きと言うためには、きれいでいるべきではありませんか？

例えば、誰かに襲われたという事態があったのなら、不可抗力です。その場合はきれいでなくなったなどとは言いません。しかし、同意の上の不倫は、汚いことです。私はそれくらいの倫理は持っています。それはまぎれもなく、裏切りなのですから。

## 結婚がなくなればいい

---

この世に結婚などなかったらいいのにはと思います。何故なら、結婚は人を徹底的にしばりつけるからです。私は自由を選んで結婚しなかったわけではありません。偉そうなことを言ってきましたが、私は死後、哲学者のカントと結婚するつもりで、独身を選びました。でも、今、現実には好きな人が一人いて、死んでからも結婚しないことにしました。

私なりの倫理なので、間違っているかもしれません。でも、独身を通したカントの倫理とは違う、私だけの考え方に、生きているうちに到達したいです。私は、自称？哲学者だから・・・。